

Epidemiological Association Regional Meeting, 1983, 10, Singapore.

5) Kagamimori S., Naruse Y., Fujita T., Watanabe M., Nakagawa M., Okumura Y. and Kawano S.: The sodium and potassium intake and its effect on regulation system of blood pressure in Japanese rural inhabitants. WHO-cosponsored International Symposium on Nutritional Prevention of Cardiovascular Diseases, 1983, 10, Kyoto.

6) 渡辺正男, 成瀬優知, 鏡森定信, 大浦栄次: 農業被曝による慢性生体影響(1)—農業散布の実態調査—。第42回日本公衆衛生学会総会, 1983, 11, 横浜。

7) 渡辺正男, 鏡森定信, 成瀬優知, 窪田道男, 中谷喜彦, 岡田 晃: 感染抵抗性に影響を与える環境要因(3報)—Cd. 及び石綿暴露群における血清 IFN と NK 細胞活性。第53回日本衛生学会総会, 1983, 4, 大阪。

8) 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男: 遺伝的素因と環境(3)—高血圧の遺伝マーカーとされる尿中カリクレインの双生児における検討。第53回日本衛生学会総会, 1983, 4, 大阪。

9) 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男: 循環器疾患の Risk Factor に関する研究(5) 本態性高血圧の遺伝マーカーとされる赤血球 Na—Li イオン移送の検討。第42回日本公衆衛生学会総会, 1983, 11, 横浜。

10) 鏡森定信: じん肺と免疫。第7回職業性アレルギー研究会, 1983, 4, 大阪。

11) 成瀬優知, 鏡森定信, 渡辺正男: 学童双生児における尿中 C-peptide 排泄量の検討。第53回日本衛生学会総会, 1983, 4, 大阪。

12) 成瀬優知, 樽井英夫, 渡辺正男, 鏡森定信, 深瀬真之: Tunicamycin によるほ乳マウスの尾異常と妊娠抑制効果。第23回日本先天異常学会, 1983, 7, 広島。

13) 成瀬優知, 鏡森定信, 渡辺正男: 双生児法による膵内分泌機能の検討。第42回日本公衆衛生学会総会, 1983, 11, 横浜。

14) 成瀬優知, 川口 誠, 黒木嘉人, 野村直樹, 平井忠和: 糖尿病の病態コントロール良好群, 不良群にみられる性格的素因。第17回富山県公衆衛生学会, 1983, 3, 富山。

15) 浜田 仁: ミカヅキモの接合子形成誘導における呼吸阻害と脱窒素との関連について。日本植物生理学会1983年度年会, 1983, 4, 松山。

16) 浜田 仁, 大塚隆幸, 山田成明, 広田弘毅,

島田多佳志, 木下 修, 滝浦文明: 河川の水質評価とミカヅキモ・富山県の神通川, 井田川の場合。第7回日本藻類学会, 1983, 7, 室蘭。

17) 浜田 仁: ミカヅキモの接合子形成について I. 基本的条件の検討。第48回日本植物学会, 1983, 10, 京都。

18) 窪田道夫, 鏡森定信, 渡辺正男, 岡田 晃: 石綿肺患者における血清インターフェロンレベルと NK 細胞活性。第20回日本細菌学会中部支部総会, 1983, 10, 富山。

19) 桑守豊美, 富岡徹久, 大菅洋子, 原田澄子, 成瀬優知: 栄養計算および24時間蓄尿による Na 摂取量の把握について。第30回日本栄養改善学会, 1983, 10, 長野。

20) 高田厚史, 成瀬優知, 松村美智代: 24時間蓄尿における Na, K の分析—57年度健民運動モデル事業より—。第11回北陸公衆衛生学会, 1983, 12, 富山。

21) 牧野哲也, 麻柄達夫, 岩 喬, 成瀬優知, 鏡森定信, 渡辺正男, 岡田 晃: 先天性心奇形の発生要因に関する検討。第18回日本小児循環器学会, 1982, 7, 大阪。(前年度記載もれ)

◆ その他

1) 成瀬優知, 鏡森定信, 寺西秀豊, 五十嵐隆夫: 疫学調査のためのアメリカ胸部疾患学会編「小児用標準呼吸器症状調査票(ATS—DLD)」の紹介とその使用経験。第5回富山免疫アレルギー研究会, 1983, 12, 富山。

2) 鏡森定信, 難波恒雄, 尾崎由紀子: in vitro におけるリンパ球のヘルパー及びサプレッサー機能に対する亜鉛の影響。第10回北陸アレルギー懇話会, 1983, 11, 金沢。

公 衆 衛 生 学

教 授	加須屋	實
助 教 授	寺 西	秀 豊
助 手	青 島	恵 子
助 手	加 藤	輝 隆
文部事務官	蓑 島	彰 子

◆ 原 著

1) Teranishi H., Kasuya M., Aoshima K., Kato T. and Migita S.: Demonstration of vitamin D-binding protein(Gc-globulin) in the urine of Itai-itai disease patients. Toxicol. Lett. **15**: 7—12, 1983.

2) 城戸照彦, 山田裕一, 寺西秀豊, 大門 和, 清水 颯: Toluene-Diisocyanate 喘息に関する研究, 第1編 臨床アレルギー学的検討. アレルギー 32: 111-120, 1983.

3) 城戸照彦, 山田裕一, 寺西秀豊: Toluene-Diisocyanate 喘息に関する研究, 第2編 Toluene-Diisocyanate 感作モルモット白血球からのヒスタミン遊離試験. アレルギー 32: 131-137, 1983.

4) Miyahara T., Shirakawa E., Kaji T., Kato T. and Kozuka H.: The effect of zinc on the metabolism of embryonic chicken bone in tissue culture and zinc-cadmium interaction. J. Hyg. Chem. (Japan) 29: 117-122, 1983.

5) Sugawara N., Aoshima K. and Kasuya M.: Effect on cadmium chloride and Cd-metallothionein on the nervous tissue culture. Toxicol. Lett. 16: 95-101, 1983.

6) 加藤輝隆, 加須屋 実, 鏡森定信, 河野昭一: スギの年輪幅を指標とする大気汚染の評価法. 北陸公衛会誌 10: 20-25, 1983.

7) 寺西秀豊, 加須屋 実, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 五十嵐隆夫: プレパレートトラップ法による屋内塵性ダニ捕集の試み. 北陸公衛会誌 10: 14-19, 1983.

8) 加須屋 実, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 小橋恭一, 近藤真理子, 田中美穂, 萩野昇: イタイイタイ病の治療に関する研究——イタイイタイ病における 1α -HYDROXYCHOLE-CALCIFEROL の治療効果——. 環境保健レポート No49: 125-139, 1983.

9) 加須屋 実, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 小橋恭一, 近藤真理子, 田中美穂, 萩野昇: イタイイタイ病患者の血中ならびに尿中カドミウムの動向. 環境保健レポート No49: 156-159, 1983.

10) 加須屋 実, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 小橋恭一, 近藤真理子, 田中美穂, 萩野昇: イタイイタイ病の尿中ビタミンD結合蛋白(Gc-globulin)と尿中ならびに血中 25-OH-D の動向. 環境保健レポート No49: 160-162, 1983.

11) 寺西秀豊, 窪田裕子, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実: イタイイタイ病患者の尿中 α_1 -microglobulin について. 日本公衛誌 30: 575-577, 1983.

◆ 総 説

1) 加須屋 実: 有害物質の人体への影響. 廃棄物処理研究 9: 14-24, 1983.

2) 加須屋 実: 環境毒性学① 水銀. 廃棄物処理研究 9: 29-41, 1983.

3) 加須屋 実: 環境毒性学② 鉛. 廃棄物処理研究 9: 32-45, 1983.

◆ そ の 他

1) 保健医学教室・公衆衛生学教室編: 昭和58年度社会医学実習報告書 第4集, 1983.

2) 寺西秀豊, 窪田裕子, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実: イタイイタイ病患者の尿中 α_1 -microglobulin について. α_1 -ミクログロブリン研究会記録集 I: 41-47, 1983.

3) 青島恵子: イタイイタイ病の現在. 廃棄物処理研究 9: 14-15, 1983.

4) 青島恵子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 実, 近藤真理子, 田中美穂, 小橋恭一, 萩野 昇: イタイイタイ病における 1α -OH- D_3 の治療効果(第二報). 北陸骨 Ca 代謝談話会報告集 第4集: 14-19, 1983.

◆ 学会報告

1) 加藤輝隆, 青島恵子, 窪田裕子, 寺西秀豊, 加須屋 実: イタイイタイ病患者の血中および尿中カドミウム濃度の年間変動. 第53回日本衛生学会総会, 1983, 4, 大阪.

2) 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 窪田裕子, 加須屋 実, 萩野 昇: イタイイタイ病患者の血中副甲状腺ホルモンレベルについて. 第53回日本衛生学会総会, 1983, 4, 大阪.

3) 青島恵子, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 窪田裕子, 田中旨子, 加須屋 実: イタイイタイ病の現状について——とくに患者の認定について——. 第24回社会医学研究会, 1983, 7, 神戸.

4) Teranishi H., Kubota Y., Aoshima K., Kato T., Kasuya M. and Migita S.: Study on humoral immunity of Itai-itai disease. 5th International Congress of Immunology, 1983, 8, Kyoto.

5) 加須屋 実, 寺西秀豊: 零細自動車板金塗装業における騒音性難聴の実態. 第26回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 1983, 10, 甲府.

6) 寺西秀豊, 加須屋 実, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 五十嵐隆夫: ナシ果樹園作業者の花粉特異的 IgE 抗体について. 第26回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会, 1983, 10, 甲府.

7) 青島恵子, 窪田裕子, 加藤輝隆, 寺西秀豊, 加須屋 実: 富山県神通川流域カドミウム汚染地区住民の腎障害に関する疫学的研究(第1報). 第42回日本公衆衛生学会総会, 1983, 11, 横浜.

8) 窪田裕子, 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 加須屋 実: イタイイタイ病患者の尿中 α_1 -microglobulin について. 第42回日本公衆衛生学会総会, 1983, 11, 横浜.

9) 青島恵子, 加須屋 実, 寺西秀豊, 加藤輝隆, 窪田裕子, 萩野 昇: 最近経験したイタイイタイ病の2症例について. 第5回北陸骨 Ca 談話会, 1983, 11, 金沢.

10) 寺西秀豊, 青島恵子, 加藤輝隆, 窪田裕子, 加須屋 実, 五十嵐隆夫: ナシ果樹園作業者の肺機能について. 第5回富山免疫アレルギー研究会, 1983, 12, 富山.

11) 成瀬優知, 鏡森定信, 寺西秀豊, 五十嵐隆夫: 疫学調査のためのアメリカ胸部疾患学会編「小児用標準呼吸器症状調査票(ATS-DLD)」の紹介とその使用経験. 第5回富山免疫アレルギー研究会, 1983, 12, 富山.

12) 寺西秀豊, 青島恵子, 窪田裕子, 加藤輝隆, 加須屋 実: イタイイタイ病の尿中に認められたビタミンD結合蛋白について. 第17回富山県公衆衛生学会, 1983, 3, 富山.

法 医 学

教 授 大 谷 勲
助 手 籠 谷 秀 翁
教 務 員 中 村 功

◆ 原 著

1) 中屋 博, 山田祐司, 大谷 勲: 長期間放置された前房内鉄片異物の1例. 日眼紀 34: 325-327, 1983.

2) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲: 船室内フロンガス充満による酸素欠乏死例. 法医学の実際と研究 26: 51-55, 1983.

3) 窪田叔子, 窪田靖夫, 飯田博行, 大谷 勲: 角膜変性を伴った原発性 Oxalosis の1例. 日眼会誌 87: 639-643, 1983.

4) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功: 着衣の損傷, 胸部X線フィルムの陰影等から刃器刺入方向の推定例. 法医学の実際と研究 26: 61-67, 1983.

◆ 総 説

1) 日本法医学会課題調査委員会: 医療事故死剖検例調査. 日法医誌 37: 434-454, 1983.

◆ 学会報告

1) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功: 船室内フロンガス充満による酸素欠乏死例について. 第67次

日本法医学会総会, 1983, 4, 大阪.

2) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功: 鉄砲水による山岳遭難死4例. 第67次日本法医学会総会, 1983, 4, 大阪.

3) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲: 着衣の損傷, 遺留された刃器片の陰影等からの刃器刺入方向の推定例. 第62回法医学談話会, 1983, 5, 福島.

4) 籠谷秀翁, 大谷 勲, 松山明美: アロバルビタール中毒の1例. 第3回急性中毒研究会(大阪), 1983, 8, 吹田.

5) 中村 功, 大谷 勲, 籠谷秀翁: 角膜変性がOxalosisであった1例. 第5回日本法医学会中部地方会, 1983, 10, 宇奈月.

6) 籠谷秀翁, 中村 功, 大谷 勲: GC/MSによって確認されたアロバルビタール中毒例. 第5回日本法医学会中部地方会, 1983, 10, 宇奈月.

7) 大谷 勲, 中村 功, 籠谷秀翁: シートベルト着用の痕跡を認めた交通事故屍例. 第5回日本法医学会中部地方会, 1983, 10, 宇奈月.

8) 大谷 勲, 籠谷秀翁, 中村 功: 遺留した刃器片のX線像ならびに着衣の損傷等からの成傷方法推定の試み. 第28回中部鑑明会総会, 1983, 11, 富山.

9) 大谷 勲, 中村 功, 籠谷秀翁: 初期褥創(?)を認めた墜・転落死の1例. 第33回日本法医学会九州地方会, 1983, 11, 長崎.

内 科 学 (1)

教	授	矢	野	三	郎
講	師	中	尾	皖	英
講	師	加	藤	弘	巳
講	師	泉		三	郎
講	師	浜	崎	智	仁
助	手	赤	川	直	次
助	手	大	角	誠	治
助	手	鈴	木	英	彦
助	手	杉	森	正	克
助	手	山	下	直	宏

◆ 著 書

1) Kobayashi M., Iwasaki M., Maegawa H., Ohgaku S., Watanabe N. and Shigeta Y.: Regulation of insulin receptor: Another mechanism of down regulation, In Hormone Receptor and Receptor Diseases, by Imura H. and Kuzuya H. (Ed.), Excerpta Medica, 25-32, 1983.